

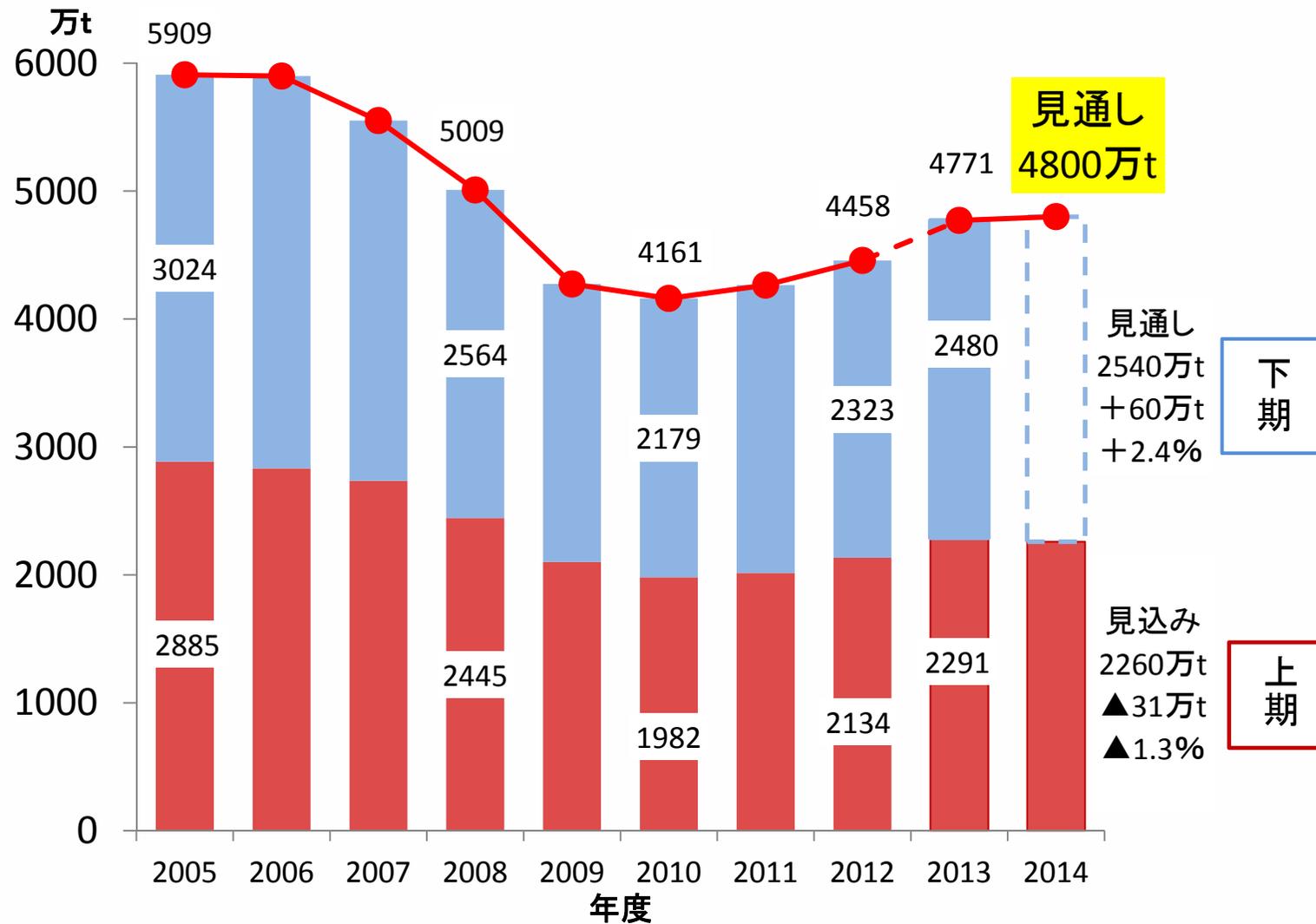
最近の需給動向について

2014年10月23日 重工業研究会

1. 国内需要の推移
2. 2014年度上期販売の背景
3. セメント供給体制の強化
4. 中期的なセメント需要

流通委員会 委員長 藤末 亮

1. 国内需要の推移



2. 2014年度上期販売の背景

地区	実績(万t)	構成比(%)	伸び率(%)	主な背景
北海道	116	5.2	0.2	北海道新幹線関連工事堅調
東北	230	10.3	▲2.9	復興工事端境期
関東一区	514	23.0	▲2.6	民間工事端境期
関東二区	196	8.8	2.4	圏央道、工場など民間工事堅調
北陸	101	4.5	▲10.2	北陸新幹線関連工事ほぼ終了
東海	247	11.1	4.7	民間工事堅調
近畿	316	14.1	3.7	民間工事堅調
四国	83	3.7	1.2	道路などの公共工事堅調
中国	133	5.9	▲3.7	ダムなどの公共工事終了
九州	254	11.3	▲4.8	災害復旧工事はほぼ終了
沖縄	45	2.0	17.1	各所で公共・民間工事堅調
計	2,235	100.0	▲0.7	
内需(含輸入)見込	2,260		▲1.3	

3. セメント供給体制の強化

生産

- (1)フル生産
- (2)休止キルンの再稼働
- (3)キルン定期修繕期間の短縮と集中
- (4)輸出向けを国内出荷に振り向け



3. セメント供給体制の強化

物 流

(1) タンカー

● 新造船

2013年度中: 6隻・積載量30,500t

2014年度中: 7隻・積載量27,300t

2015年度中: 6隻・積載量34,500t

● 廃船時期の先延ばし

(2) SS

● 夜間・休日出荷の実施

● 被災地での休止SSの復活・出荷能力の増加・指定品種への対応

(3) バラトラック

● 被災地**110台増車**(新車、域外応援等)

2011/4: 193台 ⇒ **2013/4: 303台**



4. 中期的なセメント需要

プラス要因

- 復興需要は2～3年がピーク
- 国土強靱化による全国的な防災・減災投資が実施
- 成長戦略による民間投資が活発化
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え首都圏で建設投資が集中

マイナス要因

- 本格的な景気回復後に財政再建の必要から、公共事業費が削減される懸念